



はじめに

島根に来て早2ヶ月が過ぎました。センターから見える三瓶山は茶色い山から淡い緑色、そして今は青々としてきました。道端の花々は、日々違う顔の花が咲き誇ります。畑の野菜達も芽を出し、どんどん大きくなり中には実をつけているものも。田んぼの稲も大きくなってきました。島根は季節の移り変わりが長野よりは早いように感じる今日この頃です。長い間、長野に住んでいた私にとって、目に飛び込んでくるもの全てが新鮮で、毎日発見だらけで楽しい日々です。自然、地形、食べ物、暮らし、歴史、どれも何も知らない私にとって気になる事ばかりで、知るたびに嬉しくなります。自分の地元を離れてやってくる学園生達もこういった感覚なのでしょう。

さて、学園生もようやくこの生活に少しずつ慣れてきました。体調を崩す子も多くいましたが、今はみんな元気に生活を送っています。この時期学園で大事にしていることの一つに、基本的生活習慣の定着があります。当たり前のことですが、今までは、お母さんや家族がやってくれたこと、機械が自動でやってくれていたことが多く、今まであまり自分ではやってこなかったことをやるのですから、子どもにとっては分からない事、出来ない事も多いはず。しかし、集団生活において基本的生活習慣の習得はとても大事な事で、この先社会に出ていく上でもとても大切なことをしていると思います。今は、お箸が上手に持てなくても、挨拶がなかなか出来なくても、電気が消せなくても、ここでの生活の中で身につけ、そして1年後美しい所作が出来る学園生になって欲しいと思います。

吉澤 かおり

活動カレンダー

4月28日(日)	親子ハイキング	6日(月・祝)	田植え(徳原)
4月29日(月・祝)	代かき	18日(土)	畑作業
5月 1日(水)	刃物の使い方講習	19日(日)	田車押し
3日(金・祝)	畑作業	25日(土)	(中) ボッコ釣り
4日(土)	ディキャッ" サツマ仕植え		(小) 市内連合運動会
5日(日)	茶碗作り	26日(日)	上立石交流会

親子ハイク 4/28（日） 晴

この日を待っていましたとばかりの青空が広がる中、北三瓶の多根地区を中心に親子でのウォークラリーを行いました。親子ごとに、春の自然を感じながら、指導員が考えたセンターや北三瓶地区に関わる問題を20問解きながら歩きました。問題が分からない時は携帯で調べることはいいけど、地域の人には聞くのはいいとしてるので、分からない問題があれば、地域の人に声をかける姿なども見られました。



2時間ほど歩いて着いたゴールは、約4000年前の火山噴火によって立木状態で埋もれた巨木群を見学できる三瓶小豆原埋没林公園でした。家族ごとに見学をしてセンターへ戻りました。

昼食後は答え合わせをし、優勝家族には、満タンになった三瓶バーガーのスタンプカード(三瓶バーガー1つ無料券)が贈呈され、親子ハイクは盛況のうちに終わることができました。

刃物の使い方講習 5/1（水）雨

学校が振替休業だったこの日、みんなで竹の箸を作りながら、ノコギリやナタ、ナイフの使い方を学びました。普段から自由な時間があると、竹や木を使って工作している子どもが多いですが、一歩間違えば大怪我に繋がる刃物を扱うので、改めてみんなで使い方の確認をしました。併せて、道具の片付け方や管理の仕方等も学びました。



ディキャンプ 5/4（土）晴れ

この日は、今期初のキャンプ活動として、2人組または3人組のバディを組み、裏山でディキャンプ(テント泊なしの飯盒炊爨)を行いました。裏山につくと初めてのキャンプ活動なので、危険場所の確認を含めて周辺を散策し、どこらへんでかまどを作ったらいいか確認をしました。それぞれ、場所が決まると、飯盒炊爨の開始です。薪集めから、かまど作りなど、継続生が新入園生に教えながら進めていきました。メニューは、基本は豚汁とご飯ですが、継続生の中には限られた材料で工夫をする場面もあり、継続生の余裕が見られました。この日は、天気も良く薪もしっかり乾いていたのでどのグループも順調に火がつき、調理することが出来ました。出来た班から



食べ始めましたが、どの班も上手にできていました。食べ終わり、キャンプ場での片付けも一通り終わると、大きな木に登って遊んだり、蔓でブランコを作ったりして遊んで



いる姿も。自然を満喫しました。キャンプ場は水がないため、食器などの片付けはセンターへ戻ってやりました。夜には、キャンプの反省や、今後目標にしたいことなどを発表したりして、それぞれが次のキャンプへと気持ちを高めていました。

茶碗作り 5/5（日） 晴れ

学園生は、1年間食事に使う茶碗を自分たちで作ります。自分で使うものを自分で作る体験を通して、物を大切に扱うことを学んで欲しいからです。この日は、温泉津町の「やきものの里」へ行き茶碗作りをしてきました。スタッフの方に作り方を教えてもらいながら、約1時間半で個性溢れるお茶碗が出来上がりました。やきものの里には10

段という大きな登り窯もあり、歴史あるものを見ることが出来ました。

午後は、鳴き砂で有名な仁摩町馬路の琴ヶ浜に場所を移し、お弁当を食べた後、波打ち際で遊んだり、ビーチフラッグや砂遊びをしたりして、初めての日本海を堪能していました。



ボッコ釣り 5/25（土） 晴れ

今年度初の海釣り活動は、仁摩町宅野の地磯に出かけボッコ（カサゴ）釣り。小学生は市内の連合運動会に参加するため、中学生だけの活動となりました。

前日に、道具の確認なども含めたミーティングをしました。道具を手入れすると活動への士気もあがります。当日の朝は、いつもより早めに起床し、荷物を積んですぐにセンターを出発しました。釣り場につくと、バディ毎に分かれて活動です。まずは、道具をセットして釣りを開始しました。厨房のお母さんに朝ご飯のお弁当を作ってもらったので、それを間だて食べながら釣りをしました。午前中いっぱい釣りをしましたが、なかなか良いサイズのボッコが釣れ、数

もたくさん釣れました。

帰ってきて昼食を食べた後、作業棟で釣ってきた魚をそれぞれが包丁

を使い捌きました。なかなか慣れない手つきの子が多くいましたが、たくさん捌いているうちに慣れてきました。捌いた魚は、刺身やしゃぶしゃぶ、唐揚げや骨せんべいにしてみんなで美味しくいただきました。



上立石交流会 5/26（日） 晴れ

センターがある地区の上立石自治会の交流会が行われたので参加しました。上立石自治会の方々と学園生で総勢 40 名ほど集まり、三瓶山の北の原でグランド

ゴルフをして交流を図りました。地域の人と混ざりながら、4～5 人のグループになりホールを回りました。一番最年長は 96 歳のお

ばあちゃんから一番小さな子は駐在さんのお孫さんでしたが、みんなで楽しくプレイしました。初めてやる新入園は上手くボールが前に行かなくて困っていると、地域のベテランお

ばあちゃんやおじいちゃんが、コツを教えてくれたり

して、みんなで楽しい会になりました。お昼もみんなでお

弁当を食べた後は、成績発表があり、各ブロック（子

ども、大人男、大人女）成績上位の人、さらにブ

ービーや最下位の人まで豪華賞品があり、名前が

呼ばれるたびに会場が湧きました。交流会が終わ

った後は、学園生だけでしばらく遊んでから帰りました。天気も良く、1 日よく遊びました。



農作業

センターでは、野菜や米を自分たちの手で作っています。自分たちの口に入っている野菜や米が、一体どうやってできているのか、一つの野菜や米が出来るまでにどれだけの工程があるのか、そこまでの苦労や収穫できる喜びを知り、そして食べることの大切さを知るために、農作業を体験しています。

畑編

5/3（金・祝） 晴れ

午前中はチームに分かれてセンターの畑で植える苗の全ての畝立て、マルチ

張りをしました。畝立ては思うような大きさの畝を作る

のが難しく、とても苦労している子もいれば、さすが継

続生は手際よく上手に作る子もありました。午後は、トマ

ト、きゅうり、ピーマン、ナス等の夏野菜を中心に植え

付けをし、さらにこの地域は風が強いので、植えた畝が

倒れないように、支柱をして行燈を張りました。新入園生はほとんどが初めての

作業でしたが、分からないことは指導員や継続生に聞いたりしてみんなで協力し

て作業をすることが出来ました。



5/4（土） 晴れ

昨日やる予定だったサツマイモの苗を植えました。種類は2つ。紅あずま
と、紅はるかです。前日にマルチまで張っておいたので、後は苗を植えるだ
けでした。120本の苗を見た学園生は驚いていましたが、植えてみると全部
収まり、あっという間に作業は終わってしまいました。



5/18（土） 晴れ

この日は畑の手入れをしました。4月に植えたジャガイモが芽を出
したので、芽かきや土寄せをしたり、夏野菜の支柱のつけかえをし
たり、鳥避けの修繕を分担して行いました。慣れない作業でしたが、それ
ぞれの分担をしっかりとこなしていました。



My 畑

学園生は、センターの畑の中に4m×6mの大きさの区画を貰い1人ずつが自分の好きな野菜を育て
るMy畑があります。センター畑と並行して自分の作りたい野菜を計画する所から始まり、畝立て、マル
チ張り、苗植えなど1人で作業を行いました。それぞれ1人で作業をするのですが、マルチ張りなど1人
で難しいところは隣の人と声を掛け合いながら、協力して作業をしていました。みんな、上手に畑ができ
たと思ったのも束の間、なかなかうまくいかないことも。せっかく張ったマルチを風で飛ばされてなくな
ったり、植えたサツマイモが上手く根付かず枯れてしまったりすることもありました。しかし、それぞ
れが自分の畑の世話をし、やり直したり、植え直したり、水やりをしたりして面倒を見ている。収穫へ
向けてまだまだやることはありますが、これから収穫までが楽しみです。

田んぼ編

4/29（月・祝） 曇のち雨 親子代かき（学校の田んぼ）

天気が心配される中、朝から代かきを行いました。今年は、親子行事の活動の一つだったため、多くの
保護者の皆さんも参加し、さらにPTA共催の活動なので地元の子どもたちやその保護者も一緒に活動し
ました。



まずは家族ごとに一列に並んで素足で田んぼに入り、土を踏んで細かくしながら進んでいきます。泥の感触や水温、田んぼの生き物等、自然を感じながら、約1時間半作業しました。少し休憩をとった後、最後は、毎年恒例のお楽しみ泥んこリレーです。最初は見学をと言っていた保護者の方々も大勢参加してくださり、みんな泥だらけで楽しみました。寒さも忘れて大人も子どもも関係なく、大はしゃぎしていました。



5/6（月・祝） 田植え（徳原の田んぼ）

この日は、午前中に徳原の田んぼで田植えをする予定でしたが、朝から強風が吹き田んぼに入れる状態ではなかったため、少し収まってきた午後に田植えをしました。田んぼには矢田の父さんや姉さん、大國の父さん母さん、そして修園生までお手伝いに来てくれました。父さんたちにご指導いただきながら、手押しの田植え機を使って作業をしました。手で植えるよりも機械の方が簡単で早いのですが、機械の操作が難しく、まっすぐ植えるのに苦労しました。機械で植えられなかったところは手で植え、2時間ほどで7畝の田んぼにしっかりと苗が植まりました。この徳原の田んぼはセンターで食べるお米を収穫します。今年はどれだけ穫れるのか収穫が楽しみです。



5/9（木） 田植え（学校の田んぼ）



センターでは、学校の田んぼと徳原の田んぼの2つで米作りをしています。この日は、学校の田んぼで全校生徒、地域のお手伝いに来てくれた方など大勢で田植えをしました。こちらは、餅米を植えます。

センターの活動ではなく、学校の授業の一つで行われました。先日の田植え機のようにサクサク進みませんが、手で植える大変さも学びました。



5/19（日） 田車押し（学校の田んぼ）

この日は、学校の田んぼで田車押しをしました。田車とは、苗と苗の間に出てきた小さい雑草を除去する道具です。今の農業ではほとんど使われていないそうですが、小さい雑草を除去したり、田んぼの中に溜まったガスを抜いたりするのにとても効果的と言われています。地域の方から、もう使っていない田車を何台もお借りして作業をしました。最初は2人1組で作業をしました。押して引くという操作にはコツがいりますが、慣れてくるとどん





どん進みました。また、大國の父さんが珍しい電動機つきの田車を持ってきてくださったので、そちらも体験してみました。田んぼの中の草はまだそんなに大きくないので、作業をしている時にはあまり見えないのですが、田車を押した後は、田車によって抜かれた雑草が浮いているのが見え、ちゃんと田車を押した成果がありました。

2024 年度 三瓶こだま学園 スタッフの紹介

よろしくお願いします

①名前②出身地③趣味特技④所属



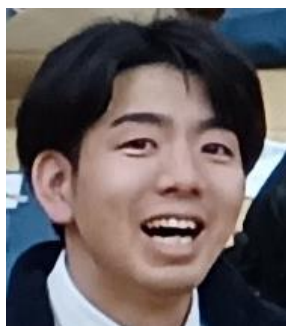
①藤原陽一
②島根県大田市
③テニス 盆栽
④大田市教育委員会
センター長



①西村崇司
②島根県大田市
③ぼや〜ん
④大田市教育委員会
主任



①稲井祐介
②香川県
③神楽、サーフィン
④育てる会
主任



①浅平泰地
②京都府
③読書・釣り
④育てる会
指導員



①吉澤かおり
②長野県
③植物写真
美味しいもの探し
④育てる会
指導員



①細川志津子
②島根県浜田市
③BTS
ウォーキング
④育てる会
厨房

＼一陣の風／

一年を通じて、自宅（標高約 50m の中山間地）とこの山村留学センター（標高約 510m）の住環境で大きく違うことがあります。多くの方は「標高が高いから気温が低いことでは」と思われるでしょう。私も 10 年前に赴任した時、地元の方に市街地より 2℃ くらい低いと聞いたので、逆に聞かれたときは同じように答えていました。ところが、仕事に通ううち厳冬期を除いてどうやらそんなに温度差はなく、特に、夏は平野部と同じくらい暑いので、最近は「以前は 2℃ くらい低かったようですけれど、この数年はそんなに気温差はないですよ」と答えています。それじゃあ違う点ですが、それは「風が強いこと」だと思っています。三瓶山（標高 1,126m）の北ろくであることや尾根の上に建物が建っているという立地上のこと、松くい虫防除の目的で周りにあった松などの高木を切ったことにより風通しがよくなったことによるものだと思っています。ですから、ひとくくりに「北三瓶は」ではなくてこのセンター周りの印象ですが、無風やそよ風の日や時間帯はそう多くなく、風が吹いているときは意外と強く感じています。

敬愛してやまない中島みゆきさんに Maybe という曲があります。そのさわりはこうです。「雲の流れは西から東 四つの季節をつないでゆく 今日も地上に吹きつける風は 左から右 右から左 1 秒ごとに気が変わる予測のつかない癪癪持ち 1 つのビルの角を曲がるたびに意外な向きで吹きつけてくる」。ずいぶん昔の曲で、大きな道路と鉄道がある高層ビル群の都会に住んでいる女性の感じ方や考えが詩に込められていて大好きな曲のひとつですが、ある時から上記の部分にも関心が向きました。それは、三瓶山を正面にみると雲の動きは西から東の方向が多いこと、癪癪持ちという表現が適切な荒れ狂う突風の日があることもその理由ですが、何より、自然豊かな場所では歩いていて不意に強い風が予測のつかないところから吹いてきて驚くという体験はそうそうできず、大都会の高層ビル群を歩く生活がないとできないため一度は都会生活も必要かと感じたことが大きな理由です。

さて、ひとしきり激しく吹きそのうちに止む風を「一陣の風」と言ったりします。ある本で知ったのですが、群馬県の詩人のかたに「一陣の風が 通りすぎた あと 花が 香りを残してゆくような そんなひとに 逢いたい（鈴木比呂志）」という詩があります。風は、思いがけない希望や期待、変化などを与えてくれる人を運んで来てくれるのかも知れません。

「くにびき通信」2024年5月号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp



大田市山村留学センター
公式ホームページ



くにびき通信
カラー版